

2019年度「平和カンパ」活動報告書

◆事業名：難民のトルコ語学習支援

◆事業の背景と目的：

シリア危機の発生から8年が経過し、シリア難民のトルコでの避難生活が長期化している。トルコ人との軋轢、通学の困難さ、就業機会の少なさ、公共サービスへの限定的なアクセスなど、シリア難民は様々な課題を抱えながら生活を送っている。これらの課題を生み出している要因は非常に重層的であるものの、どの課題もトルコ語を解さないということが大きく影響している。トルコ語を習得することにより、トルコ人とのコミュニケーションの機会が増え、それにより相互理解が深まるとともに、トルコ語のみで行われる学校の授業を理解することができるようになる、より良い条件での就業の選択肢が増える、公共サービスの利用が容易になるなどの効果がある。

しかしながら、支援団体によるトルコ語教育はトルコ政府により厳しく制限されており、民間の有料のトルコ語教室がほぼ唯一の選択肢となっている現状で、安定した職業に就いておらず収入が不安定である難民が、そうした教室に通うことは困難である。そのため、トルコ語教室に通う機会を提供することにより、シリア難民がトルコ語を習得できるようにする。それにより、難民とトルコ人の間のコミュニケーションを密なものとし相互理解を深めると同時に、難民がより良い教育機会や就業機会を得られることを目指す。

◆活動の概要と成果：

1-1. 現状

本事業では、シリア難民を対象にトルコ語教室での学習機会の提供と、それに加えてトルコ語教室での学習機会の提供と就業支援を組みわせた活動の2種類の活動を実施することを計画していた。トルコ語教室は、民間のトルコ語教室と契約を結び、就業支援は、シリア難民に職業を斡旋している支援団体と提携して実施予定であった。

トルコ語学習のみは3ヶ月間のコースで、トルコ語学習とその後の就業支援を組み合わせたものは8ヶ月のコースを予定していた。2019年10月の事業承認後、トルコ語教室の選定、職業斡旋の支援団体との協議、対象者の選定を2019年12月までに終わらせ、3ヶ月のコースを2020年3月末、8ヶ月のコースを2020年8月末に終わらせるのが当初の計画であった。

しかしながら、2018年度事業の遅れにより、本事業のトルコ語教室の選定開始が2ヶ月遅れの2019年12月となった。選定は2020年2月に終わり、3月に3ヶ月コースと8ヶ月コースの両方の募集を開始した。書類選考と面接を3月20日までに完了し、3月23日からトルコ語教室への通学が開始される予定であった。しかし、トルコにおいて新型コロナウイルスの感染者が確認され、3月13日からトルコ語教室も自主的に閉鎖となった。また、3月17日以降、トルコ政府によりNGOの支援活動にも制限が加えられ、人が集まるような活動が禁止となったため、面接は延期とした。その後、4月にオンラインで面接を行い、20人の選考は完了している。

◆今後の計画：

2020年5月5日時点で、政府より不要不急の外出を自粛するよう求める通知が出されており、この外出自粛要請は少なくとも5月末までは継続される見通しである。トルコ語教室の再開は早くても6月初めとなる。選考は5月末までに完了させる予定であり、トルコ語教室再開後、速やかに通学を開始することは可

能である。トルコ語教室が6月以降も再開されない可能性もあるため、その場合はオンラインでのトルコ語教室に変更することを考えている。現在、オンラインでの授業を実施可能なトルコ語教室を選定中である。

6月からトルコ語教室が開始されたとしても、8ヶ月のコースが終了するのは2021年1月末である。その間教室が再び閉鎖される可能性があること、また、就業支援団体の活動にも制限が加えられる可能性があるため、8ヶ月間のコースを実施することは困難であると考えられる。そのため、本事業においては8ヶ月のコースは中止とし、3ヶ月間のコースのみを提供することとする。